

童謡の英訳化による学習指導

松村 貴子（中野市立日野小学校） 齋藤 博紀（松本短期大学） 山田 真治（松本短期大学）

活動内容、期待できる学習成果

地元長野県の文化である唱歌・童謡を通して、英語に親しむ。

実践の対象と題材設定

対象：中野市立日野小学校 5・6年生（計21名）

… 作曲家 中山晋平の母校。音楽会では必ず中山晋平の作品を発表している

題材：「シャボン玉」（野口 雨情 作詞 中山 晋平 作曲）



英語版「シャボン玉」より一部抜粋

実践の実際

- ・参考となるCDと楽譜の活用
- ・楽曲が作られた背景の説明
- ・リズム唱の指導
- ・アカペラを生かした指導



アンケート結果から見た成果

表4 実際に「シャボン玉」を英語で歌ってみて n=21

項目	5年生	6年生	合計
楽しい	12	5	17
どちらともいえない	0	4	4
つまらない	0	0	0
総数	12	9	21

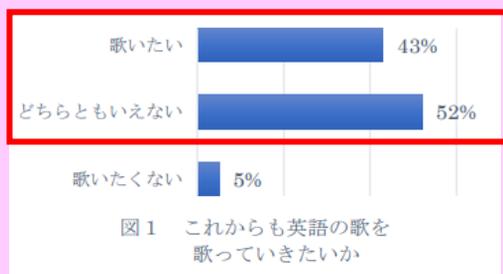


図1 これからも英語の歌を歌っていききたいか

21名中17名が「楽しかった」と回答
→英語への抵抗感を軽減できた

95%の生徒が今後英語で歌うことに対して前向きな姿勢を示した

自由記述抜粋

- ・「最初は、正直『難しそう。がんばろー。』ぐらいだったけれど、どんどん歌っていくうちに『楽しい！』『これ、覚えた！』って思うようになって…」(K生・5年) → 練習を重ねていく中での変容
- ・「英語で歌うのは、とても自信がありませんでした。しかし、今日(音楽会)スラスラと歌えたので自信になりました」(T生・6年) → 英語に対する印象の向上
- ・「発音がちょっと難しかったけどがんばりました」(F生・5年) → 英語の発音面への注目
- ・「少し意味がかわっていたので、野口雨情さんの作った歌詞のよさがあまりあらわれなかったのが残念だった。」(Q生・6年) → 英訳方法に対する疑問